



発行 信太山に里山自然公園を求める連絡会
連絡先 信太の森 FAN クラブ 0725-44-8404

e-mail hanaizm@ares.eonet.ne.jp

—市議会速報—

信太山丘陵市有地（16ha）保全へ前進

6月19日和泉市議会総務安全委員会・協議会で報告 自然環境の保全・活用検討委員会の設置へ

信太山丘陵市有地の保全と活用について

平成10年度から、公共施設の整備や生活道路拡幅を目指して取り組んできた「北部地域公共施設整備事業（Sゾーン）」につきましては、平成23年市議会第3回定例会における「信太山丘陵の市有地（16ha）自然環境の保全に関する請願」の採択や土地開発公社の解散決定等を踏まえ、今年度、「信太山丘陵市有地保全・活用検討委員会」を設置し、自然環境の保全と市民の財産としての活用等について、有識者等を交えた検討を行います。 —政策企画室長—

6月19日の和泉市議会 総務安全委員会の協議会において、政策企画室長 森吉 豊氏は上記の報告を行い、北部公共施設整備事業の経過や検討委員会設立の考え方、スポーツ施設についての方針、信太5号線についてなどの報告を行いました。

1、保全と活用の検討を進める考え方

—なぜ、検討委員会を設立するか—

- * 平成21年～22年度の自然環境調査で、当該市有地には多くの絶滅危惧種が確認されていること。
- * 平成23年市議会第3回定例会において、「信太山丘陵の市有地（16ha）自然環境の保全に関する請願」が採択されたこと。

以上のことなどから、信太山丘陵市有地につい

ては、自然環境の保全と市民の財産としての活用などについて、検討を進めることにいたします。と、説明しました。

2、スポーツ施設と市道信太5号線

また、スポーツ施設については、平成24年度に策定を予定している「スポーツ推進基本計画」の中に考え方を盛り込むことといたします。と述べました。自然環境の保全を検討とすることから、当該地にスポーツ施設を建設することは明らかに無理であるということの意味しています。別の機会に、「スポーツ施設は他の場所で検討する」とも発言されていますから、当該地に関わって「スポーツ施設」か「自然保護」かの論争に和泉市として一定の判断を示したといえます。

また、鶴山台から山の谷に抜ける「信太5号線拡幅整備」については、信太山丘陵市有地の保全と活用にかかる検討結果を踏まえ、検討してまいります。と述べました。

3、土地開発公社の解散と市有地化

経過の説明の一つに、「土地開発公社の解散」について触れられました。土地開発公社は、地価が上昇した高度経済成長期に自治体に代わって土地を先行取得し事業費を抑える役割を果たしてきました。ところが、地価の下落が続く中、開発公社の経営は困窮し、負債ばかり残ってきました。そうした中、国は開発公社の解散をすすめ、解散のための負債の利子1/2の補助を出すなどして指導を進めてきました。

和泉市もその特例を利用して、開発公社を解散し開発公社有となっていた当該地を平成24年3月に市有地化しました。

4、防衛省の補助はダメになった

もともと、北部地域公共施設整備事業を和泉市が進めた大きな動機に防衛省の補助メニューがありました。(用地代1/2、施設2/3の補助一周辺地域の民生安定助成事業)

本日の協議会で、大橋委員の「防衛省の補助についてはどうなりますか」の質問に対し、森吉 豊政策企画室長は「用地代の補助は3月に公社有から市有地になったことでダメになった」と答えました。

また、同委員が「(施設などが) 演習場からの程度離れて居れば補助の対象になるか」の問いに対しては、「即答はできない」と答えました。

5、新規事業は凍結？

ただ、気になる部分として、本日の説明で、「今後の施設整備等に関しては、市有地となり用地にかかる利息の累積が止まることで早急な事業化の必要が無くなったことや、普通建設事業の新規事業は原則凍結という『和泉

再生プラン』に沿った事業の在り方に立ち戻ることが必要と考えられます。」と述べているところです。

検討委員会で保全と活用にかかる方向を検討したとしても「新規事業」として凍結される可能性があるのかもしれませんが。

信太山丘陵の現状は、ここ10年近い間に樹木が大きく伸び、信太山の特長である草原や湿地が浸食されています。生物多様性を守る上から早急な保全作業の必要を感じます。

新しい状況での私たちの課題

今日の報告を受け、「信太山丘陵の保全と活用」という私たちが訴え続けてきた課題がまさに具体的な課題として浮上してきました。検討委員会は、学識経験者3名と市民3名(公募)で構成され、9月～1月頃まで4から5回開催されるということです。

私たちが今まで主張し、積み上げてきた成果をぜひ検討委員会に反映させるべく準備していきたいものです。

また、「里山自然公園」こそ保全と活用のあるべき姿と主張してきましたが、いっそう内容を吟味し、理論武装もして現実のものとなるよう深めていかねばなりません。本当に、「みんなで作る里山自然公園」をめざしたいものです。

現在、運営委員会では、それぞれの「里山自然公園」の思いを出し合い、深め、検討を進めています。

いろいろなご意見を事務局へお寄せ下さい。

信太の森FANクラブ

特定非営利活動(NPO)法人化へ
連絡会の参加団体信太の森FANクラブは
6月に法人として認証されます。
多様な活動を期待します。

観察・調査会 毎月第4日曜日
主 催：信太の森FANクラブ
集 合：惣ヶ池公園 9:00 保険料100円